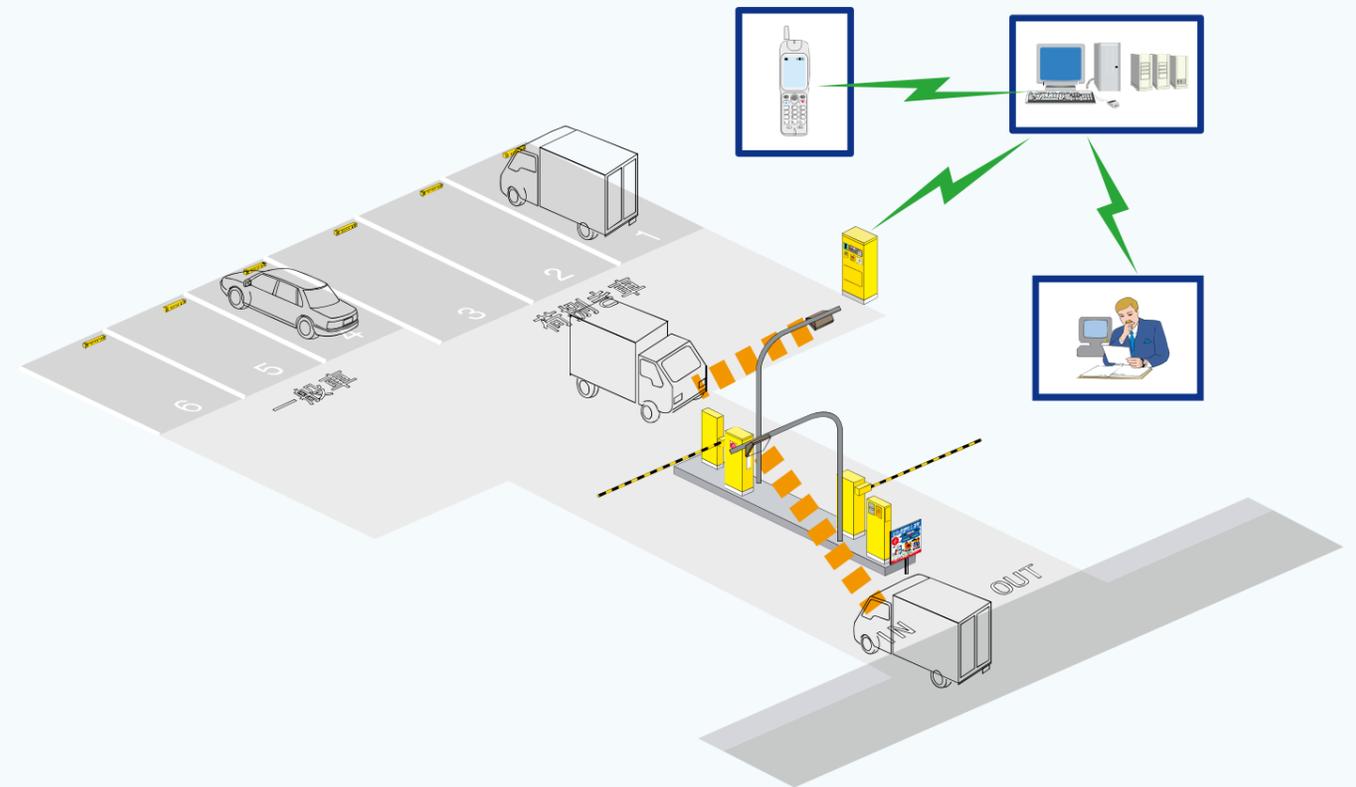


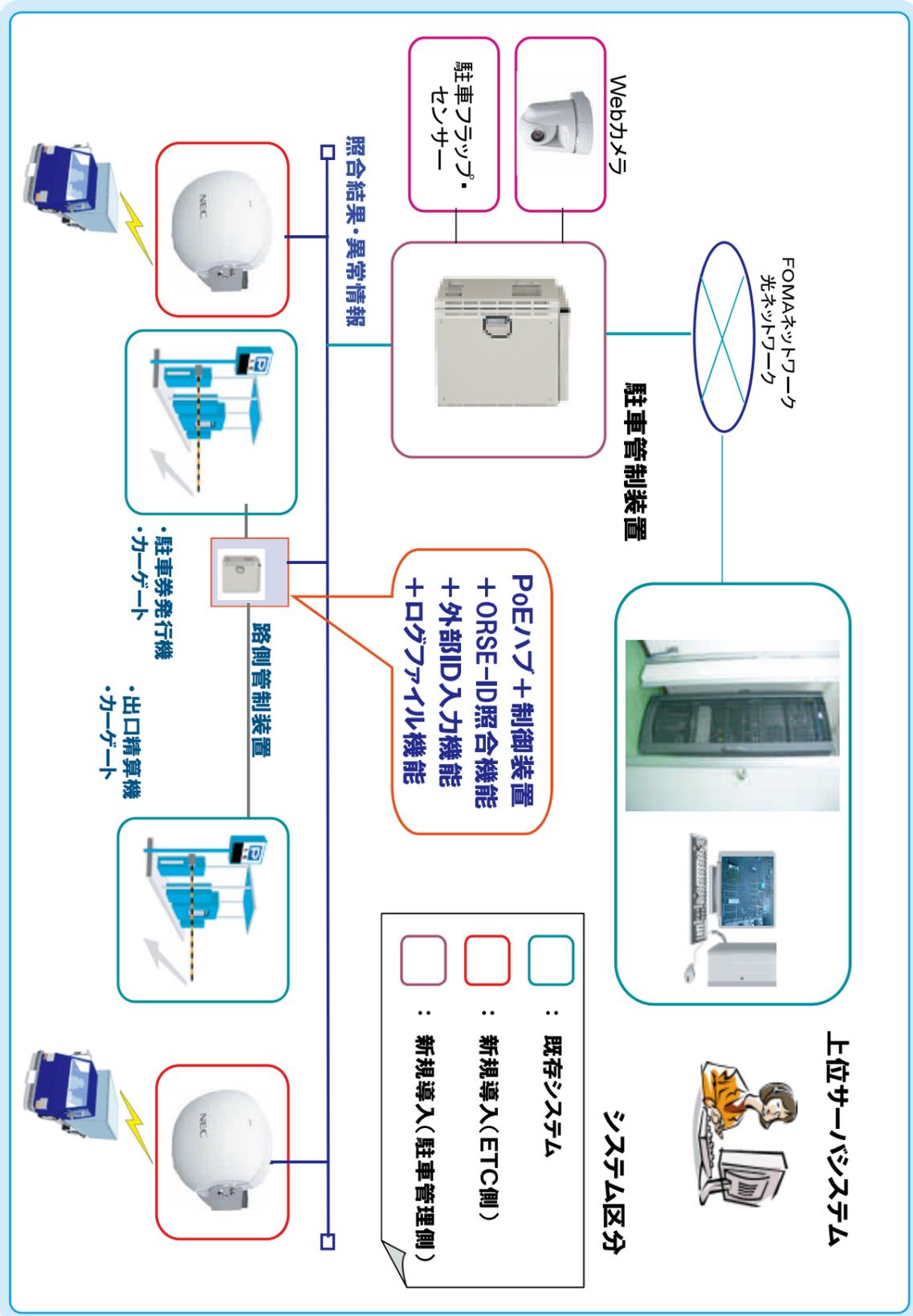
E T Cを利用した共同荷さばき駐車場

民間駐車場に物流車のための
「共同荷さばき」専用スペースを確保し
荷さばき時の路上駐車を削減する！



豊田市西町商店街駐車場

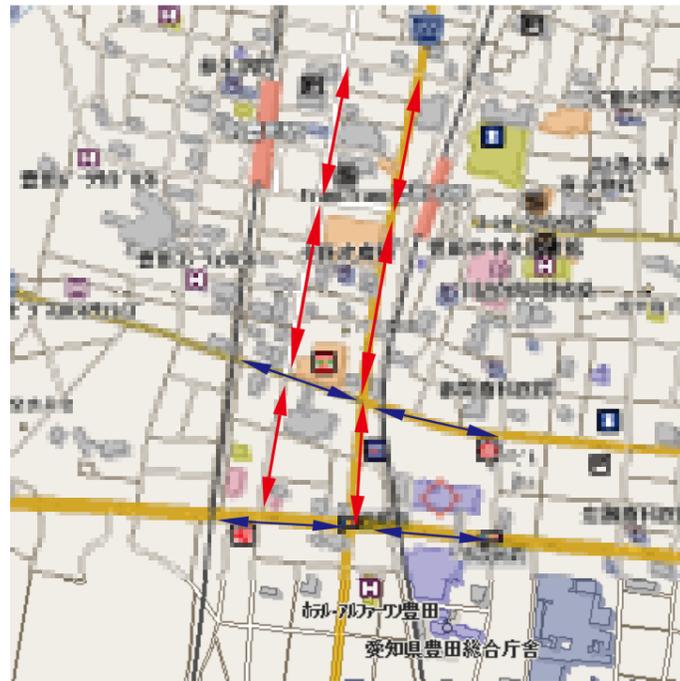
西町商店街駐車場 ETC 応用 システム 構成図



豊田市西町地区の路上駐車状況

(1) 調査内容

調査日 平成19年7月20(金)
 調査時間 8:00~20:00
 調査区間 右図の10箇所
 対象車種 物流車・一般車・タクシー
 駐車NO 全文字
 調査方法 全区間で15分断面の瞬間
 路上駐車台数



(2) 調査結果

路上駐車台数 物流車・・・88台
 一般車・・・108台
 駐車時間 平均・・・21分
 最少・・・15分
 最大・・・90分

●物流車年間路上駐車累計予想台数・・・25,000台

実証実験の背景

豊田市では中心市街地をはじめ荷さばき車両の路上駐車が多く、渋滞や事故の発生要因となっている。また路上荷さばき駐車車両はアイドリング・ストップをしない事が多く、CO₂など排気ガスによる環境への悪影響を与えている。
 今秋から本格的に放置駐車を取り締まりが強化される予定であり、路外の共同荷さばき駐車場の整備が望まれている。

西町商店街近辺の駐車状況



実証実験の目的

- (1) 共同荷さばき駐車場の実用化に向けた運営体制の確立と民間による事業モデルの検証 (有料実証実験)
- (2) 共同荷さばき駐車場に対する実需要の把握と交通環境改善への有効性の検証
- (3) 実用化に向けた課題の把握と改善策の検討及び他の商店街等における導入可能性の検討

実証実験の概要

- (1) 実験期間 平成19年8月3日~平成20年3月31日
- (2) 実験場所 西町商店街駐車場(豊田市西町5丁目地内)に共同荷さばき駐車用として3台分を確保
- (3) 運用
 - ① 利用については、オペレーター及び携帯電話による事前予約制 (将来的には無人自動化)
 - ② ETC搭載の登録車両及び専用IDカードの併用による駐車場利用
 - ③ 利用時間 24時間
 - ④ 駐車料金 10円/分 精算 月末請求
 - ⑤ 駐車マスの確保は、予約と現地利用状況(Webカメラによる確認)による入庫規制装置(フロントフラップ)にて対応
- (4) 実験主体 豊田市(協力:西町商店街協同組合)
- (5) 問合せ オペレーションセンター 03-3862-5087

現地レイアウト図

